



知事と議論する犬童

犬童 9月本会議で質問 県民からの手紙、呉地域課題など 無所属・市民派(呉市議3期、県議9期) 県議会議員 **いぬどう英徳**

呉市広弁天橋町 4-17 ☎72-9065

物価高騰対策など一般会計 214 億円補正可決♥

26日の本会議一般質問では、県民3名の知事への手紙を中心に、呉市選出の県議として、日鉄呉の閉鎖と跡地活用問題(9/27中国新聞で報道)、呉地域の振興、高齢障がい者の福祉施策、農業振興策、高校教育充実などに取組みました。

9月定例県議会では知事提案の214億円の補正予算が賛成多数で可決され、令和5年度一般会計9月補正までの累計額は1兆1,798億円余となりました。(コロナ関連は数年で累計6,276億円)

現在、「建設常任委員会」「人口減少対策・こども政策推進特別委員会」で県政課題と皆さんの要望実現に取り組んでいます。

(1) 呉地域活性化・日鉄呉跡地活用について

犬童質問 9月4日、日本製鉄㈱と広島県、呉市による合同対策本部会議が開催されましたが、「利活用案は検討中、それを議論するための協議体設置も今後検討」といった何ら前進がないものでした。単なる報告会だったのでしょうか。

何も展望が見えてこず、市民は先行きに不安を感じております。

そこで、今回の会議で県はどのようなスタンスで日鉄側に何を求めたのか、また、一刻も早く実務者レベルの協議の場を設けるべきと考えますが、

答弁(知事)

私自ら、日本製鉄に対し、

- ・ 一部先行利用も含め、早期の利活用を前向きに検討すること
- ・ 跡地利活用に係る協議体をできるだけ早い時期に設置し、建設的な議論を進めること

について、強く求めたところでございます。

日本製鉄からは、

- ・ 全設備の解体撤去には10年規模の期間を要すること
- ・ 跡地利活用については、地域の将来に大きな影響を与えるもの

という認識であり、行政と連携し、責任を持って対応していくことについて御発言がございました。県といたしましては、今後とも、呉市や国と連携し、協議体の設置を含め、地元自治体としての意見を日本製鉄に伝えるとともに、地域経済の活性化と雇用創出につながる跡地利活用となるよう、しっかりと対応してまいりたいと考えております。



コロナ禍や物価高騰下 生活困窮家庭や虐待等が増加♥

生活保護所帯、虐待・いじめ・不登校の急増・深刻化など社会問題が大きくなっています。広島県も例外ではありません。若者は低賃金・無権利状態で、将来に夢を描けない社会。国民の暮らしより、ロシアのウクライナ侵攻・核兵器威嚇に乗じた軍備拡張の優先。私たち政治家の責任は実に重い♥

「誰一人置き去りにしない広島県政」を目指します。

2023 年県政要望アンケート集計表

この春の統一自治体選挙中に皆さんから寄せられた意見要望がたくさんあります。これからの議会活動を通じて、取組めます。「市民相談所」は年中無休、お待ちしております。県の取組みについては、「県政報告くれ」などで報告します。



特別委員会で子育て支援強化等要望

要 望 項 目	2023 年 割合%
1. 呉地域活性化・日新跡地活用	17.3
2. 雇用確保、就労対策	5.1
3. 教育充実・子育て支援充実	4.5
4. 高齢者福祉・医療・介護・年金	16.0
5. 大学等の教育費負担軽減	0.6
6. 貧困対策	0.6
7. 交通安全・防犯対策	2.6
8. 核廃絶・平和	3.8
9. 文化・スポーツの振興	1.3
10. コロナウイルス対策	3.2
11. 安芸灘大橋無料化、とびしま街道	11.5
12. 県道呉平谷線バイパス建設促進	7.1
13. 豪雨災害対策、がけ崩れ防災対策	5.1
14. 津波高潮対策	0.6

15. 温暖化対策	3.2
16. 障がい者対策	0.6
17. イノシシ駆除対策	0.6
18. 水素エネルギー推進	0.6
19. 山、道路、河川、海岸等の安全	1.2
20. 少子化対策	1.3
21. 高騰物価対策	16.1
22. 男女格差解消対策	0.6
23. 広島呉道路4車線化	1.9
24. 阿賀冠崎の県道2車線化工事	0.6
25. 人口減少対策	1.3
26. 国道185号線渋滞対策	1.3
27. 国道375号線渋滞対策	0.6
28. 環境対策	0.6
計	100.0

“県民からの手紙” どうする知事！

9/26 犬童本会議一般質問と答弁 (小さい文字でごめんなさい)

知事への手紙その1 核廃絶と旧広島陸軍被服支廠の保存活用について

何よりもいま早期に、「核兵器禁止条約の早期批准」を、強く日本政府に働きかけることです。そして当面する課題としては秋に予定されている核兵器禁止条約締結国会議に日本政府がオブザーバー参加することを強く求めます。「被爆者援護法」をもつ日本の経験に役立てるべきです。平和県政推進にとって、「旧陸軍被服支廠」の活用方法を提案します。その一つは、広島市と共同しての広島文学館です。ご承知のように、峠三吉の作品の中に、この「旧陸軍被服支廠」を題材にした「倉庫の記録」があります。もう一つは、軍都広島として県内各地に残る戦争遺跡・遺産を伝える場にできないかと思えます。

答弁(知事) 核兵器廃絶と恒久平和は広島県民の願い

旧広島陸軍被服支廠の活用につきましては、本年3月に、有識者で構成する「旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性にかかる懇談会」におきまして、御指摘のように

- ・ 県民、来訪者の皆様の交流促進を目指した文化や芸術、生涯学習等の拠点
- ・ 広島市の自然や歴史・文化、平和等を学べる拠点
- ・ 国内外の人々が訪れ、県民の皆様とつながり、広島を体感するための拠点

の3つを活用の方向性として、取りまとめたところでございます。国・県・広島市で構成する「旧陸軍被服支廠の保存・継承にかかる研究会」におきまして、最終的な活用策の議論・検討を進めてまいりたいと考えております。県民に県内の戦争遺跡の存在・保存について情報発信に取り組みます。(なお、湯崎知事は核兵器依存の核抑止論に「(人類に対して)あなたは責任を負えますか」との強いメッセージを8月6日の広島市平和祈念式典で訴え、核兵器廃絶をへの取組みを求めました。)



知事への手紙その2 高齢障害者の福祉政策の充実について

27歳の時に労働災害による脊椎損傷で、車いす生活者になりました。車いす九嶺クラブという団体ではパラスポーツや障害者の生活や外出に役立つ冊子を作成し、障害者や介護者に配付を続けてきました。しかし、怪我からほぼ50年、今は77歳になり体力の低下は避けられません。県には呉市身体障害者福祉協会主催で、百歳体操を2年前から月2回実施しています。視覚、ろうあ、車いす、いずれの障害者にも参加可能な体操です。役立っています。このような体操が県内各地で行われれば、高齢の障害者もより長く社会参加ができると思います。広島県も、これからますます高齢化する障害者の福祉政策の充実を考えていただきたい。

答弁（知事） 誰一人置き去りにしない県政がモットー

高齢障害者につきましては、加齢に伴います心身機能の低下に加えて、個々の障害特性などにより、多様な課題があるため、住み慣れた地域で生き生きと生活できるよう、介護予防や健康づくりを推進していくとともに、医療や介護が必要となった場合には、一人一人の状況に合った支援を行うことが重要であると認識しております。

また、医療・介護・生活支援等のサービスが包括的に提供される地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、障害者が65歳以上になってもなじみのある環境で安心した生活が送れるよう、同一事業所でサービスを継続して利用できる共生型サービスの推進を行っております。更に取り組みます。

知事への手紙その3 本県農業の方向性について

私たちは夫71歳、妻71歳の夫婦です。定年退職後、2017年4月より農業振興センターで農業の基礎コース、次年度の経営コースを学び、2018年より農業振興センターの仲介で呉市郷原で、約1反半（455坪）の農地を借りて農業の真似事をはじめました。

しかし、知事も御承知の通り、肥料や資材費の高騰をはじめ、農作物の価格低迷等で農業に将来性を見出せなくなっています。

農村地帯ですが、農業に魅力を見いだせず、若い人は『農業では生活ができない』と後継者もなく、農業の将来は非常に厳しいと思われまます。収益の上がる農業指導など県の方針、指導を！

答弁（知事） 食糧安全保障は県政の柱です

本県農業は、「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」で、

- ・ 地域の核となる企業経営体の育成
- ・ スマート農業の導入による生産性の向上
- ・ 実需者と連携した販路の拡大
- ・ 新規就業者など新たな担い手の確保・育成
- ・ 担い手への農地集積と基盤整備

を大きな柱といたしまして、生産性の高い持続可能な農業の実現に向けて、施策を展開しているところでございます。

経営力の高い担い手の育成、担い手に対する基盤整備された農地の集積に取り組んでおります。農業者が、新たなビジネスを生み出す取組を推進するほか、国の物価高騰対策に加えた県独自の支援を行うなど、必要な対策を実施しているところでございます。

中山間地域の実情に即した農業施策を推進し、収益力の高い農業を目指してまいります。



そのほかの児童質問

- (1) 戦争遺産の史跡指定等に向けた取組について
- (2) 架橋促進期同盟会から提案されている「中部島地域の希望の架け橋」について
- (3) 公共事業における労働災害の撲滅と安全管理の徹底について

令和5年度9月補正予算214億円の概要

(1) 物価高騰等への対応 (交通事業者、医療機関、中小企業、肥料・飼料高騰農業・畜産、学校給食等)	6,922 百万円
(2) 新型コロナウイルス感染症への対策(安心安全な県民生活) (コロナ感染症対策対応にこれまで計上した予算は9月補正を含め6,276 億円)	824 百万円
(3) 広島サミットの成果の持続・発展 (平和の取組み・若者の参画、広島産品拡大・海外進出支援等)	707 百万円
(4) 社会的基盤の整備(高度医療・人材育成拠点整備・検討、災害対策対応)	2,545 百万円
(5) その他(サッカースタジアム等整備、財政調整基金積立等)	1,537 百万円
合計(特別会計繰出金及び基金積立等を含む)	21,465 百万円

10月議会建設委で都市圏を視察調査―道路、港湾、土木



老朽都市高速の架け替え更新
広島県内でもインフラの更新



大規模コンテナターミナル
広島・福山・呉港の施設は



土木建設機械の遠隔操作実験
国土交通省(つくば)

ワンさんの徒然草

1. ♪おどま 盆ぎり盆ぎり 盆から先きやおらんど♪どう言う意味？



呉市民から「犬童さんは熊本と鹿児島県の境生まれの人だと思うが、「五木の子守歌」の♪おどま 盆ぎり盆ぎり 盆から先はおらんど♪はどんな意味ですか？」と電話があった。足掛け48年議員をさせてもらっているが初めての問い合せだった。

私は「県境で鹿児島県出水市が里です。五木の子守歌は熊本県五木村の民謡。子供の時からよく歌ってきました。この民謡は貧乏な百姓家が口減らしの為に、小学3年生ぐらいから子守り奉公に生かされた幼い娘たちの切ない歌です。“おどま”は“私”、“盆ぎり盆ぎり、盆から先きやおらんど、盆が早くうりゃ 早戻る”は“奉公が終わるお盆まで、盆が来たら父母のいる里に早くかえるんだよ。”との意味ですよ」と私なりの説明させてもらった。

九州は民謡の宝庫。おてもやん、田原坂、ひえつき節、刈干切唄、黒田節、島原の子守歌、あんたがたどこさ、加藤清正お馬に乗ってハイなど、学校や地域で教わった。

“五木の子守歌”を、私は今でもよく口ずさむ。5番までなら歌える。

2. 県立広高校、呉三津田高校、広白岳中学校文化祭に出かけました



コロナの5類移行があって、多くのイベントが4年ぶり復活、学校の行事も復活し、生徒も保護者も“久しぶり”を楽しんでいる。私も呼びいただくことが多い。文化・スポーツの秋 ♡ 呉市内の高校、中学の文化祭に足を運んだ。私から見ると孫の世代、明日の社会をすぐ担う若者たちである。

生徒が主役、自ら運営する姿に、“日本大丈夫”を痛感した一日だった。サンキュウ、サンキュウ、サンキュウ



県内、呉市内を東奔西走しています♡



樹木が生い茂った県営住宅
「入居者高齢化等で剪定無理」
県が10月対応実施（阿賀南）



5年前の西日本豪雨流失・落下
広域林道「郷原野呂山線」復旧
野呂山（国立公園）にどうぞ



「鞆港埋立架橋案」を撤回
鞆の浦トンネル掘削進む
歴史的景観を守る県事業



車いす生活者のボーリング大会
犬童夫妻も参加ナイスショット



恒例稲刈り（黒瀬みのり農園）
休憩中 ホルーン演奏



減反をやめ米増産に転換を
露がウクライナの小麦輸出妨害
インドが食料確保でコメ輸出禁止



知人にいただいた
渋柿をつるして
干し柿づくり
毎年この時期が
待ち遠しい
子どもの頃は
“づくし”を
よく食べた
甘がきも好きだ
柿なら何でもよい

犬童宅の庭先

黄色の彼岸花
今年は白い花も咲いた
赤い花ならまんじゅしゃげ



玄関でトウガラシ色づく
四季の花に見劣りしない
米びつの虫よけに活躍

